

倫理委員会議事録

日時 平成 29 年 8 月 30 日 (金)
委員 副院長、統括診療部長、事務部長、看護部長、薬剤科長
指宿養護学校校長、弁護士

課題① スキンケアの予防ケア及び発生ケアに関する看護師の意識調査について

(申請者) 看護部 松永 真理亜

研究概要 看護師への意識調査で病棟看護師のスキンケアが起きる個体要因のリスク及び外力発生要因のリスクについて理解度及びスキンケア発症後のケアについて看護しがどのように考えて治療選択を行っているのか調査目的とする

判定 承認

課題② CAUTI サーベランス導入における感染対策に対する意識調査

(申請者) 看護部 本坊 沙織

研究概要 CAUTI サーベランスを導入することで感染対策の現状を数値的に示すことができ、感染対策の効果を実感でき、また、感染対策の質向上と感染対策に対する意識の変化を調査することで今後の感染対策活動に活かしていく

判定 承認

課題③ 当院におけるプリセプターの負担感に対する要因分析

(申請者) 看護部 谷口 芳美

研究概要 当院のプリセプターが新人教育に対してどのような負担感を感じているのかを明らかにし、支援体制の構築に繋げる

判定 承認

課題④ 接観察法によるフィードバックの標準的予防策の態度・実践への影響について

(申請者) 看護部 二ノ宮 理栄

研究概要 手指衛生の評価において、実施場面を直接評価した結果と自己評価に乖離があり、実施結果のフィードバックにより手指衛生遵守率の向上が見られることが報告されている。しかし、直接観察法による具体的なフィードバックが医療従事者の感染対策に対する態度や実践へ与える影響については、明らかでない。本研究は直接観察法によるフィードバックを行うことにより、標準予防策における態度と実践に変化をもたらすか明らかにする

判定 承認

課題⑤ A病棟における手指消毒の方法の伝達前後の使用量の変化

(申請者) 看護部 朝野 千織 ・ 荒木 智寛

研究概要 先行文献の結果により A 病棟で一人一人への手指消毒の手技伝達・確認を実施しこれにより使用量の変化があったかを明らかにする。

判定 承認

課題⑥ 心臓カテーテル治療を受けた患者の退院に向けたニードの把握

(申請者) 看護部 鮫島 寛子

研究概要 急性心筋梗塞にて心臓カテーテル治療を行った患者に対し、クリティカルパスに沿った看護介入をおこなっている。退院後に不安なく生活できるよう、退院に向けた患者ニードを明らかにし、患者が安心して退院できる看護介入を行う必要があり、ニードを明らかにするため、半構成面接法を用いる。

判定 承認